特集

# 元気なくっちゃん子が育つまちへ

## 町立保育所ぬくぬく開所からもうすぐ5年

施設の老朽化や待機児童の解消、子育て支援の拠点づくりなどを目的に、それまでの倶知安・みなみ・八幡保育所に代わる統合保育所として平成30年4月に開所した「くっちゃん保育所ぬくぬく」は、今年4月に開所から5年目を迎えます。

これまで、0～5歳児までの延べ419名が在籍。現在は122名の子どもたちが、木のぬくもりを感じる施設の中で、元気いっぱい過ごしています。

## 保育体制整備に向け新たな取組がスタート

町が目指す姿を総合的・体系的にまとめた「倶知安町第6次総合計画（令和2年4月策定）」では、「安心して子育て子育ちができるまちにする」ことを目標に掲げ、妊娠・出産から成人まで、一貫した町独自の子育て子育ち方針のもと、「くっちゃん子をみんなで育てる」ための取り組みを進めています。

統合保育所の開所に伴い町内の保育体制は、0～2歳児を「ぬくぬく」で重点的に受け入れ、3～5歳児は認定こども園で受け入れる体制に変わり、0～2歳児の受け入れ人数は増加しましたが、農業や観光業が盛んな倶知安町では、土日や休日の保育需要が高く、現在もこれらの体制整備を含め、子育てのさまざまな課題を抱えています。

今年度から町では、「子育てしやすいまち」を目指し、町内の認定こども園3園と連携して「くっちゃんで先生になろう！」をキーワードに、保育体制の整備と保育士・保育教諭不足解消に向けた支援制度を新たにスタートさせました。

### ぬくぬく

子どもや地域の方が親しみやすく、分かりやすいようにひらがなで、あたたかい木のぬくもりの中で、ゆったりと、のびのび過ごす子どもたちの様子が思い浮かぶイメージ

25件の公募から決定

特集 元気なくっちゃん子が育つまちへ

# くっちゃんで“先生”になろう！

町内の保育所、認定こども園、放課後児童クラブで働く、保育士などに対する、町独自の支援制度がはじまりました！

保育士や保育教諭の資格をお持ちの方はぜひ町内で働きませんか。

くっちゃん保育所ぬくぬく
芳賀 陽（はが よう）先生　渡辺 智穂（わたなべ ちほ）先生

## 保育人材確保一時金

**対象者**（パート・非常勤職員も対象）

※1日5時間以上または週30時間以上かつ月20日以上勤務する方

放課後児童支援員
保育教諭　保育士

**交付額**

8年で総額100万円

| | |
|---|---|
| 1年目 | 10万円 |
| 2年目 | 20万円 |
| 4年目 | 30万円 |
| 6年目 | 30万円 |
| 8年目 | 10万円 |

## 奨学金返還支援助成金

**対象者**（正職員のみが対象）

※奨学金の貸与を受けて保育士または保育教諭資格を取得した方

保育教諭　保育士

**助成額**

申請年度内に返還した奨学金額（上限24万円）

助成期間　5年間

## PR活動

PR用パンフレットを町HPで公開するほか、保育士などの養成学校に設置してもらいPRしています

パンフレットの内容はコチラ▶

問こども未来課こども支援係☎55－6116

町では「くっちゃん子をみんなで育てる」という目標に向かい、妊娠・出産から成人まで、一貫した町独自の子育て子育ちの方針となる「（仮称）くっちゃん子条例」の制定に向けた取り組みを進めており、今回紹介した保育士・保育教諭などの支援制度は、その実現に向けた第一歩です。

今後も町内の認定こども園や子育て団体と連携し、子育てに関する課題の解決に向けて取り組みを進めていきます。

将来、保育士や保育教諭を目指している学生の皆さん、復職を検討中の皆さん、町内の保育所や認定こども園などで「先生になりませんか」。

家族や親戚、友だちなどの身近な方で、保育士や保育教諭を目指している方、資格を持っている方を知っている皆さん、ぜひ「くっちゃんで先生になることを紹介してみませんか」。

「くっちゃんで育って良かった」、「将来はくっちゃんで子育てがしたい」と、ここで育った子どもたちが思えるまちを地域全体で作っていきましょう。



# “親”の思い “先生”の思い

「ぬくぬく」開所当初は、保護者も職員も新しい環境での子育てに戸惑いがありましたが、のびのびと育つ子どもたちとともに少しずつ歩みを進め、4月に5年目を迎えます。

ここでは、統合保育所の開所当初を知る保護者と職員に話を聞きました。

松田（まつだ） さや香（さやか） さん
ひかり ちゃん

子ども二人が、みなみ保育所とぬくぬくに通いました。

保育所が新しくなったことで、変わったこともあったと思いますが、それ以上に先生は、子どもはもちろん、保護者への気遣いやフォローを欠かさずしてくれていると感じます。

先生の多くは、働く保護者の先輩にあたるため、「この先生がいるから」と安心して預けることができており、子どもも施設がキレイで庭も広いので、毎日楽しみに通っています。

この地域は、自然豊かで子育ての環境としては、とても良いと思いますが、働きながらの子育てには、会社や周囲の理解や協力が必要なことも多く、保育所以外にも、子育てのサポート体制が充実すると、働く保護者として安心して暮らしていけます。

反保（たんぽ） 奈美（なみ） 先生
村田（むらた） 美智子（みちこ） 先生　瀬川（せがわ） 和子（かずこ） 先生

受け入れる子どもや職員の人数が増えたので、今まで以上に職員同士が連携し、共通意識を持って子どもたちと関わるようにしています。

本来であれば、保護者の皆さんには、ここでの生活を直接見てもらいたいのですが、コロナ禍で我慢や理解をしてもらっている分、送迎などのときには、日々の様子を細かく伝えることを大切にしています。

0～2歳児は、土台作りの時期のため、生活の中で経験し、身に付けていく力を育むことを大切に、子どもたちには、この時期だからできることを目いっぱいさせてあげたいです。